

平成 29 年 6 月 四万十町議会定例会

町 長 行 政 報 告

本日、議員の皆様のご出席をいただき、平成 29 年 6 月町議会定例会が開催されますこと厚くお礼を申し上げます。

開会にあたりまして、先の 3 月議会定例会以降の主要な行政運営等に関しまして、ご報告申し上げます。

■ 本庁舎免震装置ゴム交換工事について

本庁舎に使用している東洋ゴム工業社製免震装置ゴムの交換についてご報告申し上げます。

東洋ゴム工業社製免震装置ゴムについては、平成 27 年に一部の製品が、国土交通省が定める性能評価基準に適合していないとの発表を受けまして、その後の調査により、本庁舎の一部に不適合品が使用されていることが判明したところです。

本庁舎に使用している免震装置ゴムについては、西庁舎 17 基の内 5 基、東庁舎で 13 基の内 1 基が性能評価基準に適合していない状況となっています。

このため、本庁舎の免震性能を設計どおり担保する必要性から、東洋ゴム工業株式会社の責任のもと、免震装置ゴムを交換することとしました。

交換工事のスケジュールについては、6 月 1 日から現場周辺の仮囲い及び現場事務所などの仮設工事を行っています。今後は、工事前の建物調査を行い、ジャッキアップ機材や免震装置ゴムを搬入し、8 月下旬から 9 月中旬にかけて免震装置ゴムの交換作業を行う予定です。工事後は建物調査を実施し、10 月末には全ての工程を完了する予定です。

工事に係る現場事務所及び仮資材置き場については、免震装置ゴムを搬入する場所が限られることから、やむを得ず西庁舎は庁舎南側の来客用駐車場に、東庁舎は線路側公用車駐車場に設置したところです。西庁舎前の県道を挟んで西側に 20 台ほどの代替駐車場も確保していますが、工事期間中は来庁者の皆様に大変ご不便をおかけします。

本工事につきましては、来庁者並びに近隣住民の皆様への影響を最小限に留めるよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■ 平成 28 年度四万十町一般会計決算見込みについて

平成 28 年度一般会計歳入歳出決算見込みについてご報告申し上げます。

平成 28 年度の一般会計決算見込額は、歳入総額 169 億 2,445 万円、歳出総額 163 億 6,092 万円で、歳入歳出差引額は 5 億 6,353 万円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源 6,381 万円を差し引いた実質収支額は 4 億 9,972 万円を見込んでいます。

現在、決算調整並びに分析等を行っていますが、歳入では昨年度に続き、ふるさと支援寄附金、いわゆる「ふるさと納税」が 4 億 9,100 万円余り増加し、歳入全体でも 2 億 2,018 万円・1.3%の増加となっています。また、歳出についても、ふるさと支援基金への積立金や返礼品等の事務経費が増加したことなどから、歳出全体で 3 億 2,155 万円・2.0%の増加となるなど、歳入・歳出とも「ふるさと納税」関連の伸びにより増額となっています。

なお、町の預金にあたる積立基金残高並びに町の借金にあたる町債残高の状況ですが、積立基金については、ふるさと支援基金で 8 億 3,040 万円、その他で 4 億 3,550 万円、合わせて 12 億 6,590 万円を取り崩す一方、今後の各種事業の実施等に必要な財源として、ふるさと支援基金で約 12 億 7,900 万円、その他で約 6 億 1,200 万円、合わせて 18 億 9,100 万円余りを積立てるなど、平成 28 年度末における積立基金残高は、前年度末から 6 億 2,500 万円余りの増加となっています。また、平成 28 年度末における町債残高については、前年度末から 8 億 1,900 万円余りの減少となっています。

以上が平成 28 年度一般会計決算見込みについてのご報告となりますが、議会 9 月定例会におきまして、決算認定として提案させていただく予定ですので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

以上で行政報告を終わります。

議員の皆様並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。